

2008 年度

科目名 日本仏教史 A	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 古代日本仏教の展開		
授業の概要と目標 6 世紀以降、日本の文化は、なんらかのかたちで仏教の影響をうけてきました。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をもはたしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めることをめざしつつ、日本仏教の進展を支えた先達者達の業績にも触れたいと思います。前期開講の A では、仏教伝来から平安時代中期までを概観します。八宗体制の成立とその根底をなす思潮について考えたいと思います。		
評価方法 課題レポート (80%)・出席状況 (20%)		
テキスト 『日本の宗教』	著者 堀 一郎	出版社 原書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1) オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 (2) 仏教の伝来 (3) 聖徳太子 (4) 国家仏教の展開 (5) 国分寺と東大寺 (6) 南都六宗の成立 (7) 奈良時代の仏教文化 (8) 最澄と天台宗 (9) 比叡山の仏教文化 (10) 空海と真言宗 (11) 密教の特徴 (12) 平安仏教の密教化 (13) 験者の活動 (14) 御霊信仰 (15) 中世の胎動		